

教育研究所だより

令和6年2月号



発行 委員会
岡崎市教育研究所
電話 83-7770

飛び上がって喜ぶ子供の姿を見るために

学校指導課指導研修係 新育大

一月十五日(月)、独立行政法人教職員支援機構主催の令和五年度単元内自由進度学習から考える「子供を主語にした個別最適な学び」セミナーに参加しました。

単元内自由進度学習をご存じでしょうか。上智大学の奈須正裕教授が提案する、単元レベルの学びを子供に委ねる授業実践プランです。

「子供は、自分でやってみてできると、飛び上がって喜ぶんですよ」

奈須氏が、講演の中で話された言葉です。子供に学びを委ねた個別最適な学びの実現に向けて、更に尽力していきたいと思う機会となりました。

本市では、個別最適な学びの実現の手だてとして、チーム学習を推奨し、学びを子供に委ねる授業づくりを目指しています。単元内自由進度学習とチーム学習の共通点の一つに、子供に学びを委ねるための環境整備が大切と考えていることが挙げられます。チーム学習では、心理的安全性を保障した四人一組のチームを構成し、机の配置を基本T字にして、いつでも聞き合える環境をつくるようにしています。また、チーム学習を支える上でも必要なICTの環境整備も十分に整っています。一人一台のタブレット端末を配付し、互いの情報を共有したり、調べたいことをいつでも調べたりすることができます。加えて、電子黒板が中学校と、小学校四年生以上の普通教室等に導入されてお

り、全体でも素早く情報共有し、個の学びを深めることができます。

今の学校現場には、発達特性の可能性のある子供、不登校・不登校傾向の子供、海外にルーツをもつ子供、特定分野に特異な才能をもつ子供等が在籍します。そういった子供も取り残さない教育を実現しなければいけません。

どの教員もチーム学習の在り方や、ICTの活用方法を十分に理解し、授業に取り入れていくことで、個別最適な学びが実現し、飛び上がって喜ぶ子供が更に増えるのではないのでしょうか。

多くの教員が引き続き研鑽を積み、子供に学びを委ねた個別最適な教育が積極的に取り組まれることを願っています。

2月 休館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
1/28	29	30	31	1	2	3
休館	休館	○	○	○	○	○
4	5	6	7	8	9	10
休館	休館	○	○	○	○	○
11	12	13	14	15	16	17
休館	休館	休館	○	○	○	○
18	19	20	21	22	23	24
休館	休館	○	○	○	○	○
25	26	27	28	29	2/1	2
休館	休館	○	○	○	○	○

